

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を
Engage Rotary Change Lives



個々の価値観を尊重し
自らロータリーを楽しもう

国際ロータリー会長 ロンD. バートン

2013~2014

富津中央RC会長 須藤 隆

国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2347 第46回例会 2014. 6. 12 曇 時々 小雨

点 鐘 : 須藤 隆 会長

進 行 : 大網庄一郎 SAA

ソング : 我等の生業

お客様 : 堀内正一 第四分区ガバナー補佐

: 川名教子 佐貫中学校道徳推進教師

夫妻で参加していただき私どもの親睦活動を大いに盛り上げていただきました。本当に1年間お疲れ様でした。私どもクラブとしても堀内様の1年間の労に感謝申し上げたいと思います。堀内様には後程、シドニー国際大会に出席されたお話を含めて、ご挨拶をお願いいたします。

会長挨拶

須藤 隆 会長



皆さんこんにちは。本格的な梅雨に入り、連日、雨のニュースが日本列島を駆け巡っております。今日はまずお客さんをご紹介します。最初にガバナー補佐の堀内様です。堀内様には今年一年、第4分区を代表して忙しいガバナー補佐の任務を遂行され、退任のあいさつの為私どもクラブを訪問していただきました。先週の会長幹事会で配布されたガバナー補佐の活動状況に目を通したらその忙しさに驚きました。ガバナー補佐として出席された会議や、各クラブへの公式訪問だけでも50回を数えました。また堀内様には昨年の忘年夜間例会にご

もうお一方のお客様をご紹介します。佐貫中学校で国語の先生で道徳の推進を担当されている川名教子様です。道徳教育の一環として佐貫中で開催される盲目のピアニストを招いた演奏会にロータリーとして協力させていただく件に関し、川名先生から後程皆様にお話ししていただくことになっております。よろしくお願ひいたします。

さて先週新旧の会長、幹事が揃った第4分区の合同会長・幹事会がありました。合同会長・幹事会に先立って次年度の会長・幹事会が行われ、来年1年間の会長・幹事としての具体的な取り組みに関する打ち合わせがあったようです。会議が終わった後の若鍋次年度会長の来年度1年間への思いを込めた厳しい表情が印象的でした。一方合同幹事会の方は、議題も1年間の会計報告と新旧打ガバナー補佐の挨拶及び引き継ぎ事項程度で閉会し、引き続き新旧会長・幹事の懇親会に移り、第4分区の1年間を締めくくりました。こうやって、確実にロータリーの活動は来期に移行しようとしております。来週例会はこの1年を振り返ってというクラブフォーラムが予定されております。1年を総括し、7月からの

〒293-0042 富津市小久保2868
さざ波館 Sazanami-kan
2868 Kokubo Futtsu-shi Chiba-ken,
Zip code 293-0042
Tel.0439-65-3373 Fax.0439-65-3304
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



次年度に確実に移行できるよう皆様をお願いして挨拶いたします。

幹事報告

山田昌雄 幹事



堀内ガバナー補佐一年間ご指導有難うございました。年度末に近づいたせいか報告事項ありません。

誕生祝



大網庄一郎 昭和14年6月17日

誕生祝一言

誕生祝いを頂き有難うございました。6月17日で75才になります。新しく入会された会員の方から見ると「へー」と思われるかも知れませんが、間違いなく75才です。(少し自惚れかな?)

今年は私にとって記念日が重なりました。

- 1、ロータリー入会10周年
- 2、結婚50周年の金婚式
- 3、75才後期高齢者入り

次は77才喜寿を元気に通過したいと思います。ありがとうございました。

全盲ミュージシャン木下航志ライブ後援お願い

紹介 高島治雄 会員



本日長年に亘り佐貫中の道德教育の企画、実践に中心的な指導をされてきた川名教子先生と佐貫中のユニークな活動について紹介いたします。

佐貫中では少人数教室の特性を生かし、以前から全校で道德教室を開くというユニークな活動を続けてこられました。これには小学校高学年にもよびかけ、さらに地域住民にも案内して、地域ぐるみの道德教室を展開しています。

私も何回か出席させてもらいましたが、例えば車椅子のバスケット選手の話と子供たちとの競技とか、全盲のピアニストの演奏会とか・・・

それで今回第2回目となるそうですが6年前に実施した全盲のピアニスト木下航志氏のライブをこの7月10日(金)に開くことになり、今その資金集めに努力されているようです。その一つとして富津中央ロータリークラブに支援要請がありましたので過日6月5日の理事会にお話しし当クラブ後援という形で了承していただきました。会計さんからも本年度会計から3万円の支援は可能ということです。本日は川名先生に来ていただき、今回の道德教室について当例会でお話をさせていただこうとお招きした次第です。



川名教子 佐貫中学校道徳推進教師



本日はお時間を頂き有難うございます。本学校教育の目標は「自立と共生」。そしてスローガンとして「ONE FOR ALL ALL FOR ONE」「前へ」という言葉が掲げられています。

生徒たちは明るく、いろいろなことに一生懸命と取り組むことができます。一小一中の学区ですので、幼いころから知り合いが多く、学年を越えて仲良く過ごしています。

その一方で、ややもすると人間関係が固定化されてしまい、そのなかで自分らしく生きるにはどうしたらいいのだろうか戸惑い悩むこともあります。しかし、学校生活をおくる中で、「お互いを誉め合い尊重し合うこと」「人は一人では生きていけないのだが、自分自身で決めて自分自身でやらなくてはいけないこともある」「しかしながら、いつどんなときにも人の助けを借りることも忘れないこと、見方を変えれば困っている人がいたら、助ける手を差し伸べることのできる人になること」など、学んでくれているととらえております。もちろん、これは学校教育の力だけではなく、むしろ各家庭のご協力や地域力の賜であると感謝しております。

そこで、是非保護者の方や地域の方も招き、生徒とともに感動する時間と空間を共有できる、今回の道徳集会木下航志ライブにあたり、ロータリークラブ様のご支援を頂きたく、お願いに参りました。

よろしくお願いいたします。

佐貫中学校の現況

全校生徒 53 名 (H26,6,12 日現在)

(内訳)

一年生	男子	9名	女子	4名
二年生	男子	11名	女子	11名
三年生	男子	11名	女子	7名

(詳細は配布書きをご覧ください)

第4分区ガバナー補佐退任ご挨拶

堀内正一 ガバナー補佐



皆さんこんにちは！！

今年度もあと20日程となりましたが、本日は例会の貴重なお時間を頂戴いたしまして退任のご挨拶に伺わせて頂きました。

早いもので、昨年7月4日にガバナー補佐としてご挨拶に伺って一年が経とうとしています。

その間12月に行われました夜間例会を含め皆様には大変お世話になりました。

今年度RI会長ロン・バートン氏は「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」とし、これを受け当地区関口ガバナーは「元気なクラブを目指して」とし、例会は楽しく且つ緊張あるものにとされ会員増強と例会の大切さを強調されました。例会の在り方についてはインターシティーミーティングで「例会に出席して何を学ぶの」のテーマのもと土屋リーダーの基調講演と皆様によるディスカッションをして頂きました。もともと富津中央ロータリークラブ様の例会は、私がいつも伺っては和気あいあいのなか楽しい雰囲気で行われていて何も問題もなくお手本の様な例会と感じていました。その意味では、IMには大雪のなか多くの会員の皆様にご出席頂き大変有り難く感謝申し上げる次第です。

会員増強については2790地区14分区ございますが、4月末現在第4分区の会員が減少している中、富津中央ロータリークラブ様は3名の純増となっているとの事大変うれしく思っている所です。

この会員増強そして退会防止と言うのは、各クラブの会員の皆様の熱意しかないと思いますが、次年度宇佐美ガバナーエレクトも会員増強を一番に上げ、ロータリーの復活と原点回帰で望むとの事だそうですが、来年度引き続き会員増強そして、奉仕プロジェクトにお力を注いで頂きたいと思います。

私も第四分区の各クラブ訪問、地区セミナー、そして若鍋会員も参加していますRLI(ロータリーリーダーシップ研究会)を通じて、2790地区の多くの皆様とお話しする機会を得て、また6月1日からシドニーで行われました国際大会にも参加することができお陰様で貴重なロータリーライフを過ごす事が出来ました。

シドニー国際大会には日本人が約3400名、2790地区では81名そして第4分区からは国際大会推進委員長の山田PDG、君津RCの川名会長そして私が出席して参りました。

大会は広大な敷地のオリンピックパークで行われました。開会宣言に続き歓迎の挨拶でオーストラリアのトニー・アボット首相がポリオ撲滅の為に1億オーストラリアドルを寄付することを宣言し大変な拍手で会場が盛り上がりました。そのあとロン・バートンRI会長による「ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を」についてお話がありました。そして世界の国旗が次々と入場し日の丸が紹介された時には私も思わず立って大きな声でヤーと言ってしまいました。来年はブラジル・サンパウロです。宇佐美ガバナーエレクトから少し遠いですが是非皆さん参加してくださいとの事でした。

ここで少し2790地区或いは第4分区のロータリーについて、私を感じたままの印象を全くの私見ですが、述べさせていただきます。

今ロータリーは皆さんもなんとなく以前とはちょっと変わってきたなと感じておられると思います。まず会員増強の点ですが、地区全体では会員減少が

年から歯止めが掛り、アベノミックス効果の影響が少しずつですが、上向き傾向にあります。

第四分区は大変厳しい状況ですが、今後は会員資格を含め職業分類の見直し等きめ細かな対応が必要ではないかと思います。

奉仕プロジェクトはロータリー財団を利用した補助金による地域に根差した奉仕活動或いは国際奉仕が活発に行われていると思います。これにつきましても今年度木更津東RCのグローバル補助金によるヤギ銀行と、モンゴル支援では君津、上総、富津シティの三つのクラブの共同で支援することが認可されました。今後小規模なクラブの奉仕活動として一つの選択肢ではないかと思います。

一方ロータリーの基本的な考え方も、従来のI serveからWe serveへ、単年度事業から継続事業へ、そして職業奉仕の大切さを認識しながらも奉仕プロジェクトを前面に出した広報活動の重要性が次第に強調されている様に思います。

所謂ロータリーは、陰徳陽報の精神が大切であると我々の様な古くからの会員は、教え込まれて来ましたが、今後大きく変質していく事が予感されます。DLP(地区リーダーシップラン)が2002年に導入されてから12年が経過していますが、富津中央ロータリークラブ様は導入済ですが、今後はDLPに連動した効果的なクラブ作りとしてのCLP(クラブリーダーシップ)を導入しようとするクラブが少しずつ増えて来る様です。

これは、2790地区全体をみると約2割のクラブの会員数が20人を割っている現状である事を考えると、必然的な流れかとも思います。

今、ロータリーの第2世紀に入って10年来年度は110年が経ちますが、ポールハリスの言うロータリーは変化して成長していかなければならないと思いますが、関口ガバナーも5月号のガバナー月信でも述べておられます様に、ただ変化すれば良いと言うものでもないと思います。是非、皆様もクラブ

の自治権と言う観点からそれぞれのクラブにあった運営を考えて頂きたいと思います。

終わりに、一年間富津中央ロータリークラブの皆様には、ご支援ご協力を頂きまして、なんとかガバナー補佐のお役目を終える事が出来そうです。今後、富津中央ロータリークラブの益々のご発展と会員皆様のご健康をお祈り致しまして、退任のご挨拶と致します。



—今回の入院で思ったこと、気付いたこと—

千葉一利 会員



ご心配おかけしましたが皆様の励ましの言葉に支えられ何とか生還することができました。ありがとうございました。

私はK病院に狭心症、前立腺肥大、ヘルニア、尿管癌など計13回入院しました。でも手術で入院したのは今回が初めてです。左の尿管と膀胱の付け根の部分に癌ができ、どうしても左の腎臓と尿管を切り取らなければならないということでした。県癌センターでも同じ診断でした。

手術時間は予定では4～5時間でしたが、脂肪が厚く7時間以上もかかってしまいました。待っていた女房、娘、妹等が心配し、もしかしたら出血多量、心臓機能の低下、等で遅れているのではないかと、気をもんで話していたそうです。このように長く遅れ

た場合にはどうにか連絡できないものかと思いました。待っている人は心配です。

この入院で特に感じたことは、一つは麻酔から覚めた時のことです。麻酔の効いているときは暗黒ではなく、思考のまったく無の世界、これが「あの世」かなと思ったら、死に対する恐怖感がスーッと消えてしまいました。実際死に向き合ったらどうなるかわかりませんが、あの時はそう思いました。

二つ目は7時間以上も同じ姿勢でいたので、腰が痛く、切り傷も痛み、看護師さんは「痛いときは言ってください、痛みどめをあげますから」と。でも飲んで急には効かない。そんな時自分で自分に言い聞かせました、「このくらいの痛さなら俺は我慢できるぞ」と。すると不思議にも痛みが薄れたように感じ、そのうちいつか寝てしまいました。人間気の持ちよう一つで何とかなるということでしょうか。「念ずれば通ず」「ピグマリオン」効果かも知れません。

以上入院中のことについて話しましたが、出来得ればこんな体験はしないことで、皆様には私の体験が参考にならないことを祈っております。

ニコニコBOX

金子光晴 親睦担当委員

*堀内正一 ガバナー補佐

一年間皆様に大変お世話になりました。貴クラブの発展を祈ります

*大網庄一郎 誕生祝をいただいて

若鍋武良 堀内ガバナー補佐、川名先生をお迎えして

須藤 隆 " "

平野安照 " "

栗原典子 " "

金子光晴 " "

石渡 鋼 " "

山田昌夫 " "

高橋裕之 千葉会員退院おめでとう御座います

千葉一利 ご心配おかけしました

* >1,000 円 合計 17,000 円

出席報告

白石幸久 出席担当部長

区分	会員数	出席	欠席	MAKEUP	出席率
今回	24/21	18	3		85.71%
前回	24/20	15	4		75.00%

訃報

銚子 RC 会員2010～11年度ガバナー 織田吉郎様

平成 14 年 6 月 6 日

RI 情報

〈RI の方向とクラブの自治権〉

ロン・バートン会長曰く(「ロータリーの友」平成25年3月号)

「ロータリーの組織構造を考えた時、ロータリーにはRI 理事会と自治権を持つ34000 のクラブがあります。

私たちが認めるか認めないかはともかく、多くのクラブはエバンストン(RI の本部)で何が起きているのかなどということは気にも留めていないので、自治権を持つクラブの存在は世界最高の保険に入っているようなものです。これには弊害もありますが、良い面もあります。そして、良い面を活かし(活かせば)、多くを達成できると思います。」

しかし、ロン・バートン会長は、一体何を言いたかったのか?

「自治権を持つクラブは、世界最高の保険に入っている」ようなものとは皮肉なのか?

いずれにしても、我々のクラブには自治権があり、RI は単にロータリークラブの集合体にしかすぎず、上命下服の関係ではないことは理の当然である。しかしだからと言って我々はエバンストンでの出来事に無関心であっていいのかという問いかけを私はしたいのです。

エバンストンから出る色々な意思表示のうち、御案内のように理事会から出る意思表示は単に推奨事項であって、各クラブがこれを受け入れるか否かは自由であります。(例えば、CLP)

又、3年に1度の規定審議会から出される意思表示のうち、決議案は同じく定款細則の改正はないので、同様各クラブの自主性に任されます。

ところが、規定審議会から発せられるいわゆる制

定案は、定款細則の改正がありますので、これに各クラブは従わざるを得ません。イヤだという権利はありません。

問題はここなのです。我々には自治権があるから関係ないと無関心でいるうちに、徐々に制定案という形でロータリーの本質が変えられていってしまうことの危険性に気が付くべきなのです。

たとえば、此の度の規定審議会においてもEクラブ(通常例会のない)各地区2つまでとされていたのが無制限になりましたのがよい例です。日本のロータリーの危機が諸先輩から色々な切り口で語られてきておりますが、その危機を内包するのはもしかしたら自治権にあぐらをかいている各クラブではないかと思われても仕方がないのです。

RI理事が「ロータリーの友」でこう述べております。「我々日本のロータリアンは、ロータリーがどうあるべきかを恒常的にしっかり議論する場を持つ必要があると思う。趨勢として今RIがどんな方向へ舵取りをしたいのか、十分理解してその「肯定的折り合い」点を定めた上で次の規定審議会、又は、その次の規定審議会に立法案を提出するという戦略的な計画に則ってなすべきだと思う。何かいつも「守勢」から始まるが如き規定審議会への対応ではどうにもならないのではないのでしょうか。

強い体制を準備した上で発言していくことによって、日本のロータリーの存在価値を示していくべきと思う。」

さて、1年間私と共に勉強し、そして大いに悩もうではありませんか。

